

「食事バランスガイド」の
普及・活用状況について

平成18年1月23日

第20回厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会資料

「食事バランスガイド」の普及・活用状況

1. 民間企業での活用

①スーパーマーケット、コンビニエンスストアでの活用

農林水産省補助事業(事業実施主体:(財)食品産業センター)として、ライフコーポレーション、イトーヨーカドー、ローソンは、店内でのパネルやポスターの掲示、リーフレットの配布、HPへの掲載、「食事バランスガイド」に対応するメニューの提案等を通じて、バランスのとれた食生活の提案を行った。

また、独自の取組みとしては、ポスターの掲示、HPを活用した情報提供などがみられる。

②食品メーカーでの活用

リーフレット配布、バランスメニューの紹介、HPへの掲載など。

Y企業では、「食事バランスガイド」を参考に「バランス弁当シリーズ」を開発し、全国の関連店舗にて販売している。ラベルには「食事バランスガイド」のコマを記載した統一デザインを使用し、バランスのとれたおいしい弁当の提案を行っている。

③その他企業での活用

絵本ソフトの開発、カレンダーの配布、フードモデルの開発など。

2. 職員食堂での活用

厚生労働省、農林水産省の職員食堂において、委託給食会社等と連携し、ポスターの掲示やメニューへの表示などを実施。

R企業では、「食事バランスガイド対応食器研究会」を立ち上げ、コマのデザイン入り食器を開発中。食堂利用者が食事選択場面で主食・副菜・主菜のバランスのとれた料理をそろえるための判断に役立つものを提案する予定。

3. 自治体、関係団体における取組

各自治体における、10月の「食生活改善普及月間」に合わせたポスターの掲示、HP・広報誌等への情報掲載、職員食堂でのメニューへの表示、調理師研修会や給食施設における栄養管理担当者への研修会、事業所の健康管理者活動支援、等での情報提供など。

日本栄養士会における、健康日本21推進フォーラムや民間企業と連携したパンフレットの作成、配布。日本食生活協会における普及啓発活動。全国飲食業生活衛生同業組合連合会における飲食店等へのポスター配布(8万枚)。

〈スーパー、コンビニでの取組事例〉



〈食品メーカーでの取組事例〉

「バランス弁当」の販売



パッケージを使用した情報提供



〈厚生労働省の職員食堂での取組〉



「バランスおすすめセット」の提供



〈食器の開発〉



〈学習ソフトの開発〉



〈参考〉

日本栄養士会において、下記の日程で「食事バランスガイド活用セミナー」を開催予定。

○平成 18 年 2 月 5 日（日） 13:15～16:45

六本木アカデミーヒルズ 4 9 タワーホール